くわな特別支援学校

貝増　吉郎　議員
（自民みらい／桑名市・桑名郡選出）

問　障がいの有無に関わらず、子どもたちが同じように教育を受けることができる環境づくりに力を入れるべきだと思います。

本年4月にくわな特別支援学校が開校しましたが、学校に対する高いニーズが保護者などからも非常に多く聞かれており、受け入れ体制が危惧されます。

今後の学校整備の進め方について伺います。

答　すでに学級数が想定した最大規模となり、今後も児童生徒数の増加が見込まれることから、校舎の増築を行うこととし、平成26年9月の供用開始を目指した整備を進めています。今回の増築により、地域に根ざしたキャリア教育の充実と児童生徒の自立と社会参加を進める教育理念の実現をより一層推進していきたいと考えます。

県立くわな特別支援学校

その他の質問事項

○中小企業支援　ほか

国際地学オリンピック三重県大会

笹井　健司　議員
（新政みえ／松阪市選出）

問　活断層による直下型地震では大きな被害が出ると想定されていますが、防災上、自分の住む土地の状況を知ることも大切です。こうした中、平成28年に「国際地学オリンピック大会」が三重県で開催されると聞いていますが、内容について伺います。

また、これを機会に地質への理解や関心が高まるよう、地学教育の充実に取り組んでいくべきではないですか。

答　「国際地学オリンピック大会」は、最多40か国程度の高校生が、5日間程度にわたり、筆記と実技試験により地学に関する知識を競うとともに、他国の生徒との交流を深めたりするものです。

大会開催を契機に、理数教育全般の底上げを進め、生徒の地学に関する知識や興味・関心を高めていきたいと考えます。

その他の質問事項

○新県立博物館　ほか

災害時のヘリコプター運用と課題

前野　和美　議員
（自民みらい／津市選出）

問　県内には津市の伊勢湾ヘリポート以外に空港が無く、4箇所ある県の防災拠点にも航空燃料は備蓄していません。

大規模災害により伊勢湾ヘリポートが被害を受けた場合、燃料補給基地として、県の北部は名古屋空港など隣県の空港が活用できますが、南部では困難です。南部地域にも伊勢湾ヘリポートに代わる空港や給油施設を整備すべきではありませんか。

答　県南部では熊野市消防本部などに燃料備蓄があり、平常時の活動にほとんど支障はありませんが、備蓄の量が限られており、大規模災害に対応するには十分とはいえません。大規模災害が発生した際、県南部地域でのヘリコプターの重要性は大きいため、給油施設整備について、周辺の関連施設との連携も含め、多面的に検討していきます。

防災ヘリコプター

その他の質問事項

○農業農村の整備維持にかかる土地改良施設への支援　ほか

総合型地域スポーツクラブの活性化

田中　智也　議員
（新政みえ／四日市市選出）

問　①総合型地域スポーツクラブは多種目・多世代・多志向の3つの多様性を持ち、競技人口の増加や競技力向上に寄与するものと考えます。また地域住民により運営されていることから、子どもや高齢者の居場所づくりとなり、クラブへの愛着がクラブだけでなく地域コミュニティを支える人材形成につながると考えます。クラブ活性化のために県はどう取り組みますか。

答　国内トップリーグ選手の派遣などにより、子どもがスポーツに親しむ機会づくりに取り組んでいます。今後、競技力向上の視点も踏まえ、国内トップレベルのクラブチームなどとの連携を一層進めるとともに、会員確保の手法などについての情報提供や活動場所確保のための市町教育委員会との調整など、クラブが活性化し、地域スポーツの推進につながるよう取り組みます。

その他の質問事項

○四日市港の災害対応力の強化　ほか

文中の傍線部分については5ページの用語解説をご覧ください。